

今、ふたつのことに熱を傾ける。

ひとつは演劇ワークショップ。

「舞台上で役を演じるのではなく、役を生きることを教えてるんです」

とはいえ、まだ開催は1度だけだが、SNSなどで募集した15人ほどの旺季塾で、既存の芝居をワンシーンだけ講義した。

もうひとつが「吉本坂46」。AKB48、乃木坂46、欅坂46などを産み育てた秋元康氏がプロデュースするアイドルグループで、吉本興業所属の芸能人6000人からオーディションで選抜される。

旺季さんは吉本興業に芸人ではなく文化人として所属。1次の書類審査から始まり、3次の自分CMと4次の水着写真審査は共に投票1位通過。水着審査では人魚姫の尾とホタテ貝殻を付けたコスプレのような水着で挑んだ。5次の本格的なダンスオーディションではダンスレッスンの厳しさに「これはオバサンの私を落とすための審査でしょ!」とマネージャーに泣きついたが合格。8月下旬、6次の秋元康氏による最終審査もクリアし、メンバー入りを果たした。

現在、3度目の結婚をして、既に成人した5人の子の母親でもある。実子はひとり。他

の4人は夫の連れ子。夫との出会いは実子のPTA繋がり。

「母親として何をするでもないけれど、ただ、どんなことがあっても私は絶対的に子どもたちの味方だよ、ということだけは伝えてあります」

昨年、東京・池袋でミュージカル「天の河伝説」の作・演出をこなし、再演も決まった。今年5月には、自己啓発エッセー「誰かのためにも大切だけど、そろそろ自分のために生きてもいいんじゃない?」も出版した。

「人生、どこでどうなるか、オモロイですよ!人生全てネタだと思ってるから、何でも乗り越えられます。自分の前に神様に敷石を置かれて、そこを進んでる感じかな」。

(取材・文／北島由記子 写真／永井守)

